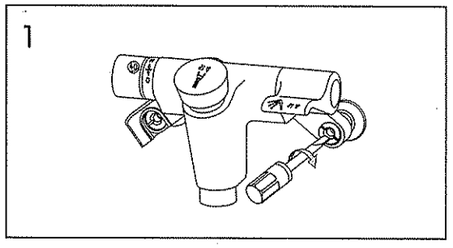
（自閉式）施工説明書

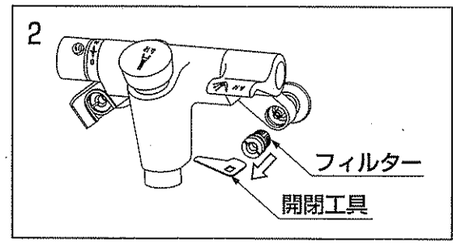
取付後の調節

1. フィルターの掃除

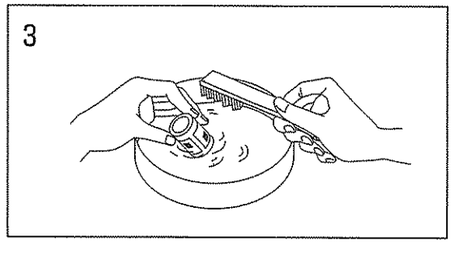
フィルターがつまると吐水量が少なくなったり、水または熱湯しか出なくなったりするなど十分な機能が発揮されなくなります。器具取付後は、必ずフィルターを掃除してください。また、お客様にもときどき掃除していただくようにご説明ください。



(1) マイナスドライバーで湯側・水側の止水栓を閉めてください。



(2) 開閉工具を溝に差込み、フィルターをゆるめて取出してください。

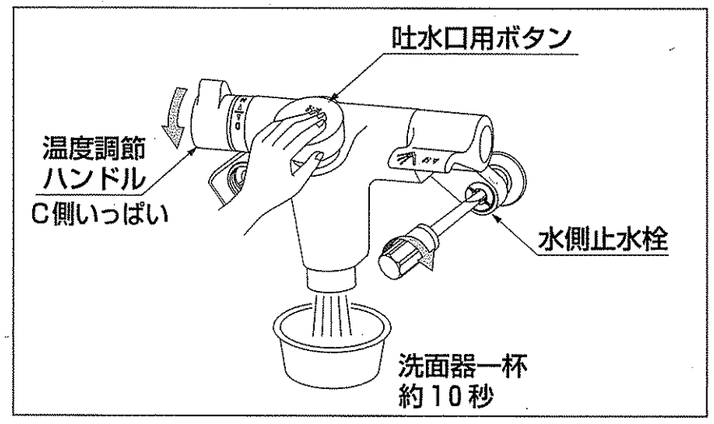


(3) フィルターの網目につまったごみをブラシなどで取除いてください。

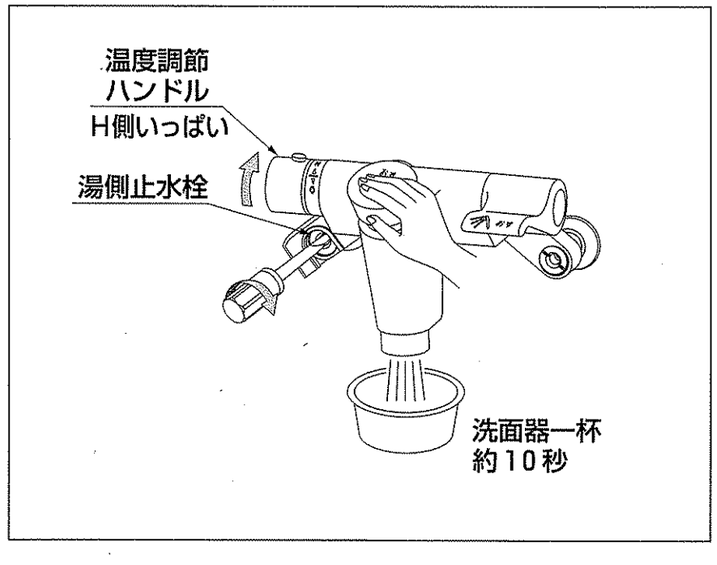
2. 吐水口の流量（水勢）の調節

製品の機能が十分発揮されるように、水圧の高い場合は次の要領で流量を調節してください。

(1) 洗面器を吐水口下に置き、温度調節ハンドルをC側いっぱいに回します。吐水口用ボタンを押しつづけ、吐水量が洗面器一杯にするのに約10秒になるように水側止水栓を絞ります。(約15L/min)

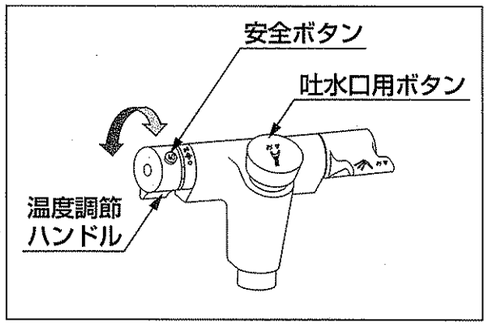


(2) 温度調節ハンドルをH側いっぱいに回します。水側と同様に吐水口用ボタンを押しつづけ、吐水量が洗面器一杯にするのに約10秒になるように湯側止水栓を絞ります。(約15L/min)

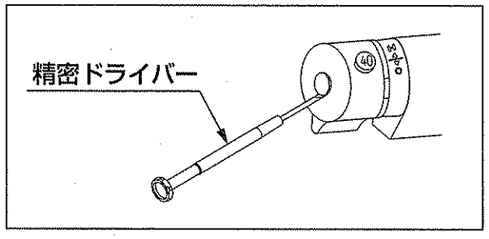


3. 温度の調節

工場で温度調節をしていますが取付現場の圧力状況などによって、目盛どおりの吐水温度にならない場合があります。その場合は次の要領で調節してください。
調節する前に十分な温度（使用する温度より10℃以上）の湯がきているか確認してください。

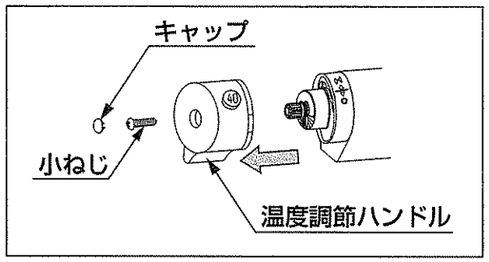


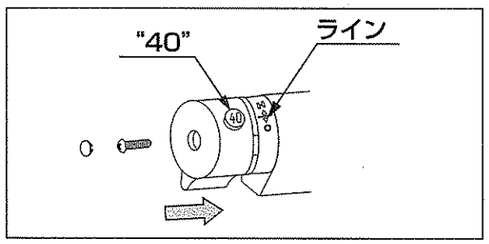
(1)吐水口より(但しTMF49C2型の場合はシャワーより）吐水させて温度調節ハンドルの目盛に関係なく40℃の湯が出る位置まで温度調節ハンドルを回してください。
(高温側に回すときは安全ボタンを押してください。但し、安全のため、45℃以上の湯水は出ないようにしています。)



(2)温度調節ハンドルが回らないように注意してキャップ・小ねじをはずしてハンドルを抜取ってください。

※キャップは精密ドライバー等の先の細いものを使用し、めっき表面を傷つけないように注意しながらはずしてください。





(3)安全ボタンの“40”の文字とラインを合わせて温度調節ハンドルをはめ込み小ねじで固定してキャップを取付けてください。

(4)固定後に40℃の湯が出ているかご確認ください。

再生紙を使用しています。

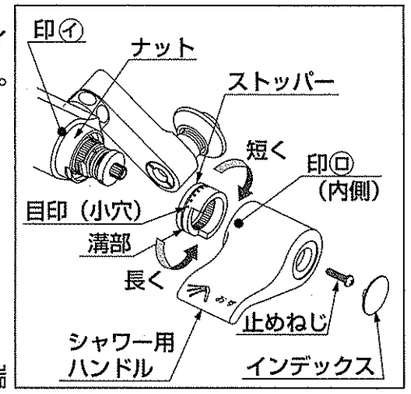
吐水量の調節

吐水時間（シャワー側）及び吐水量（吐水口側）調節機能を備えていますのでお好みの吐水時間及び吐水量に調節することができます。

1. シャワー側の調整

※まず、流量調節弁（TMF49C2型の場合は湯側、水側止水栓）でシャワーの流量（水勢）をお好みの量に調節し、吐水時間を確認してください。（7～11L/minが目安です）
流量（水勢）の調節を行ってもお好みの吐水時間が得られない場合は、次の要領で調節してください。
工場出荷時は一回の操作で25秒程度の吐水時間に調節しています。

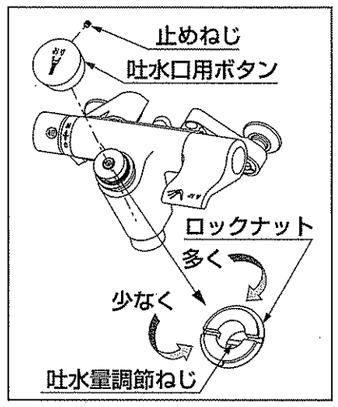
(1) インデックス及び止めねじを取外します。
(2) シャワー用ハンドルを取外し、ストッパーの溝部にマイナスドライバーなどを差込み、ストッパーを取外します。
(3) ストッパーをはめかえて吐水時間を調節します。
（目安としてストッパーの目印（小穴）を15°毎に設けております。
調節は半ピッチ（7.5°）毎できます。
半ピッチで約10秒の調節ができます。）
右回転・・・・・ 吐水時間が短くなります。
左回転・・・・・ 吐水時間が長くなります。
(4) ストッパーの目印（小穴)を本体上㋑の印を目安にしてはめ込みます。なお、ストッパーの溝部がナットの端面と合うまでストッパーを押込みます。
(5) シャワー用ハンドルを本体上 ㋑ の印とハンドル内側の㋺印 を合わせて取付け、止めねじを締付けます。
(6) シャワー用ハンドルを一度押して吐水時間を確認します。
(7) お好みの吐水時間に調節が終わったらインデックスを取付けます。



※印㋑と印㋺を確実に合わせてシャワー用ハンドルを取付けてください。
印がずれるとお好みの吐水時間が得られなくなります。

2. 吐水口側の調節（TMF49C1型の場合）

工場出荷時は一回の操作で洗面器一杯分（約3L）程度吐水するように調節しています。
(1) 止めねじを緩めて吐水口用ボタンを引抜き取外します。
(2) ドライバーでロックナットを緩めます。
(3) ロックナットの穴よりドライバーを差込み、吐水量調節ねじを回転させて調節します。
(一回転で約2Lの調節ができます。)
右回転・・・・・ 吐水量が多くなります。
左回転・・・・・ 吐水量が少なくなります。
(4) ハンドルを一度押して吐水量を確認します。
(5) お好みの量に調節が終わったらロックナットを確実に締付けた後、吐水口用ボタンをマークが正面を向くようにはめ込み、止めねじを緩まないよう十分締付けてください。



※付属の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。
手渡しできない場合は、工事完了後、ハンドルなどに吊り下げておいてください。